

陸軍歩兵第25連隊痕跡

地下鉄月寒中央駅 1 番出口の向かい側にアンパン道路月寒側の起点あります。国道36号線と接する入口には明治風の街頭が2本立っており、アンパンを模した茶色い円形の看板に「アンパン道路」と書かれています。この辺りは戦前、陸軍歩兵第25連隊の駐屯地でした。

宮門の松

国道36号線を、アンパン道路入口から札幌方面へ100メートルほど進み右折すると月寒中央通に出ます。この通りを50メートルほど進んだところに、見るからに古そうな一本の松が立っているのが「宮門の松」です。



洋次通り

行き交う人の肩が触れ合えんばかりの小路に、半世紀前の雰囲気を残した建物が並ぶ。山田洋次監督が「庶民の町の情景がここにある」と絶賛し、HBC放送のTVドラマ「瓜二つ」のロケ地に選んだ場所です。



洗濯乾燥室

つきさっぶ中央公園裏側の居酒屋とクリーニング屋がくっついた妙な建物。建物間に歩兵第25連隊の洗濯乾燥室として使われていたレンガ造りの壁の痕跡が残っている。



月寒公園

起伏に富んだ地形の随所に昔からの自然が残っている総合公園。高台からは美園地区の町並みが望め、ポート池や、パークゴルフ場などのスポーツ施設がある。

リンゴ並木

昭和49年(1974年)、平岸発展の基礎となったリンゴ園を偲び、環状通の中央分離帯約1kmにリンゴの木が植えられた。昭和60年(1985年)、地元有志により当時のリンゴ園を偲ぶよすがとして碑が建立された(豊平区美園11条7丁目)。



中の島神社

明治10年(1877年)頃、開拓者が地域守護のため、現在の中の島1条2丁目の大木の下に祠を祀ったのが最初と言われており、大正3年(1914年)に現在地に移転。樹齢200年以上の2本の御神木(ハルニレ)には「地の神」が宿っており、触れると足腰の疲れ、肩凝りなどに良いと言われている。

精進川

精進川は、明治中期から定山溪鉄道が開通するまで、木材の搬送に利用されていた大きな川。定山溪で切り出された丸太を豊平川に流し、中の島1条11丁目付近で精進川に送り、同1条1丁目付近で引き揚げ、馬車で札幌に運んだと言う。精進川と豊平川に囲まれていた中州が、現在の中の島。その後、精進川は、昭和7年(1932年)に豊平川との合流部分がせき止められ、現在の姿となる。平岸との境である平岸1条17丁目には、「精進川の滝」があり、そこから下流に沿って、精進河畔公園が広がっている。

天神山緑地

標高85mの頂上付近にある展望テラスからは、藻岩山や札幌市街を眺望することができる。園内には、日本庭園や梅、平岸開基120年を記念して植えられた八重桜などがあり、毎年春には梅や桜が咲き誇り、多くの方がお花見に訪れる。

相馬神社

平岸開村五拾年記念碑・馬頭観音碑のほか、樹齢300年以上のシバクリの御神木がみごと。

アンパン道路

明治 43 年(1910 年)、旧豊平役場が豊平から月寒に移転した際に、町は歩兵第 25 連隊に協力を要請し、翌年、地元民も参加した工事により全長 2.6km の道路が僅か 4 ヶ月で完成。町は工事中兵士達に間食としてアンパンを提供した。これが今日の名物「月寒アンパン」で、以来この道はアンパン道路と呼ばれ地元民に親しまれている。起伏に富んだ道からは、当時の平岸一月寒間の厳しい交通事情が偲ばれる。

あんぱん道路平岸川起点

平岸小学校前。校門横にあんぱん道路の看板。



平岸地区最初の商店

平岸小学校向かいの明治 26 年創業の木村商店（現・清水商店）。



坊主山のホオノキ

平岸ぼうず山公園内にある。推定樹齢 100 年を超え、平地に舌状に突出した標高約 64m の通称坊主山台地の一角にそびえ、平岸の変遷を見下ろしている。



旧たくんち

建築家倉本龍彦氏設計の第 1 作。自宅として建築され、子息（倉本琢）の名にちなみ、「たくんち」と名づけられた。3 階建てで木製の下見板を使った独特な外観がおもしろい。現在は喫茶店「サッポロ珈琲館」。



倉本さんの建築物は、このたくんちが第 1 号ですが、道内にはこの他にもニセコに建てられた「ばあちゃん家」が有名です。何もない平野の中にただ一棟斜め 45 度に建つ奇抜なデザインの建物です。

月寒小学校旧門

月寒にあった大久保レンガ工場で焼かれたレンガが使用されている。昭和 47 年まで正門として使われていた。



参考とした情報

[道新りんご新聞](#)

[今昔マップ](#)